

児童発達支援士 & 発達障害コミュニケーション サポーター 第2版

ご案内パンフレット

児童発達支援士・発達障害コミュニケーションサポーターは2025年4月に最新の医学やエビデンス、統計に対応した改訂版(第2版)を発刊しました。発達障害に関する研究は現在も行われている分野であるため、新しい情報で学習をすることが望ましいと考え、当協会では改訂版をリリース致しました。



人間力認定協会のポリシー

人間力認定協会にはひとつのポリシーがございます。

“応急処置ではなく、根本からの処置をすること”

受講を希望される方から以下のように質問されることが多くあります。

「痙攣を起こした場合にどうしたらよいか勉強できますか？」

「好き嫌いのなくし方について具体的に説明されていますか？」

これらの質問は、特定の出来事に対してどうするかという対処法を求めていらっしゃいます。これは私どもなりの表現をすると“応急処置”です。応急処置は、新たな問題が発生したらまたその対処方法を模索する、また新たな問題が出たらまた模索、、、と終わりがありません。

保護者の皆様が、今抱えている問題をすぐに解決したいという気持ちはよくわかります。そのためには少し遠回りに見えるかもしれませんが根本的な部分を学び、理解する必要があります。

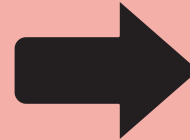
根本的な部分とはどういうものかというと、

- ・ 各種発達障害の特性（お子様が該当するもの以外も幅広く）
- ・ 人を動かす話し方や話の聴き方等の基本的な対人スキル
- ・ 子どもがやる気を出し、自発的に動く声掛けやアプローチ法

ここを押さえておけば、どのような状況が訪れたとしても自ら考え、自ら答えを導き出せるでしょう。私どもの資格はこういった観点を重要視しています。皆様が支援者として自立されることを願っています。

児童発達支援士

NEXT



発達障害コミュニケーションサポーターの詳細は 12 ページ以降を御覧ください

	 商標登録証 (CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION) 登録第 6633091 号 (REGISTRATION NUMBER)	
商標 (THE MARK)	 (一社) 人間力認定協会 認定 児童発達支援士 child development supporter	
指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 (LIST OF GOODS AND SERVICES)	第 45 類 身の上相談、乳幼児および児童の保育（施設において提供されるものを除く。）	
商標権者 (OWNER OF THE TRADEMARK RIGHT)	静岡県静岡市葵区鷹匠 3 丁目 12 番 8 号 901 号室 一般社団法人人間力認定協会	
出願番号 (APPLICATION NUMBER)	商願 2021-115178	
出願日 (FILING DATE)	令和 3 年 9 月 2 日 (September 2, 2021)	
登録日 (REGISTRATION DATE)	令和 4 年 10 月 27 日 (October 27, 2022)	
この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。 (THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)		
特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)	令和 4 年 10 月 27 日 (October 27, 2022)	
	濱野 幸一	

児童発達支援士の概要

■資格概要

児童発達支援士は、発達障がい児（自閉スペクトラム症・注意欠如多動症・限局性学習症）にどのような働きかけをすれば子どもの能力を高め、社会で活躍できる人材に育てることができるのかを体系的に学び、認定する資格試験です。脳科学や心理学に基づいたアプローチ方法や、社会に通用する礼儀作法を体得し、幸福な人生を歩む子どもを育てることを目的としています。

■資格の制度

当資格は履歴書への記載可能な民間資格です。資格の「登録費」「年会費」「更新費」は不要。資格取得に必要な費用は受講料と試験料のみ。（講座を受講した者のみ受験可能。1講座申込につき1名の受験資格を付与）

■標準学習時間の目安と受講期限

標準学習時間の目安は20時間～30時間程度としており、平均すると2、3カ月程度で資格習得される方が多くなっております。

受講期限は8カ月と長期間ございますので、お申し込み後いつ受験して頂いても結構です。ゆっくり学習をしたい方やまとまった時間を作りにくいという方でも安心です。

■受験資格

受験資格は特にありません。学歴・経歴・年齢は一切問いません。

■試験について

ご自宅にてオンライン試験を受けて頂きます。試験日は随時となりますので、皆様のご都合に合わせて好きな日を選択いただけます。（受験する時間もお好きな時間で構いません）パソコン、タブレット、スマホいずれかのデバイスとインターネット環境をご用意ください。

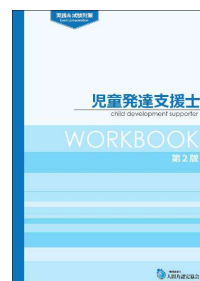
教材の内容

児童発達支援士の教材は主に3種類ございます。公式マスターブック（テキスト）と実践ワークブックをご自宅にてお好きな時間に学習頂けます。全ての項目の学習を終えたタイミングで試験対策動画を確認すると効果的です。

LMS（eラーニング）にも対応しているため、外出先でも学習ができます。

（動画はオンライン上で視聴ができるようにしております。DVDを希望の方はオプションで購入可能）

- | | |
|------------|------------|
| ①公式マスターブック | 1冊（128ページ） |
| ②実践ワークブック | 1冊（36ページ） |
| ③試験対策動画 | 42分程度 |



児童発達支援士 テキスト章構成

1章 発達障害の特性を知る

- 1-1 発達障害は障害なのか、個性なのか
- 1-2 発達障害の本当のリスクは二次障害
- 1-3 発達障害の種類と診断基準（DSM-5-TR）
- 1-4 自閉スペクトラム症（ASD）とは
- 1-5 注意欠如多動症（ADHD）とは
- 1-6 限局性学習症（SLD）とは
- 1-7 大人の発達障害とカサンドラ症候群とは

2章 支援・療育方法とケーススタディ

- 2-1 発達障がい児の療育とは
- 2-2 ABA（応用行動分析）
- 2-3 TEACCH（ティーチ）
- 2-4 感覚統合療法
- 2-5 スモールステップ
- 2-6 ソーシャルスキルトレーニング（SST）

3章 脳科学の面から、子どもの特性を知る

- 3-1 子どもを伸ばすキーワードは“教えない”
- 3-2 挨拶・返事で頭がよくなる
- 3-3 習慣化ネットワークの働きを知る
- 3-4 子どもの幸せを決めるのは学力ではない

4章 人の道に立つための、しつけ教育

- 4-1 しつけ教育を行う目的とは
- 4-2 教育と発育の違い
- 4-3 素直な心を芽生えさせるしつけ
- 4-4 思いやりの心を芽生えさせるしつけ
- 4-5 やりぬく力を芽生えさせるしつけ
- 4-6 しつけを習慣化ネットワークに組み込む

5章 やる気を引き出し、自ら成長していく子の育て方

- 5-1 やる気を引き出す条件
- 5-2 子どもの自由な発想を大切にする
- 5-3 学ぶことが何につながるのかをイメージさせる
- 5-4 誉めるよりも承認が重要
- 5-5 劣等感を抱かせない

6章 人間力を身につけ、必要とされる子の育て方

- 6-1 挨拶にプラスアルファをつけられるように
- 6-2 あきらめない心を育てるための考え方
- 6-3 自主性と主体性の違い
- 6-4 コミュニケーション力が最も求められているスキル
- 6-5 感謝の心が子どもの未来を変える

1章から6章までの構成となっており、大きく2つの学習に分かれます。

「発達障害の基礎知識や療育について」「子どものしつけ、能力に引き出すアプローチ」

発達障害のことだけを事細かに学術的に知りたいという方には、少し物足りなさがあるかもしれません。

逆に「知識ばかりあっても仕方がない！実践で子どもを伸ばしたい」と思われている方にはピッタリな内容になっています！



テキスト（公式マスターブック）sample1

1-2 発達障害の本当のリスクは二次障害

前項で紹介したように、発達障害自体は“障害”であっても、“個性”として捉えることもできます。問題はその個性によって二次障害が生まれやすいという点にあります。二次障害には以下のようなものがあります。

- うつ病
- 不登校
- 引きこもり
- 対人恐怖症
- 依存症
- 暴言、暴力など行動面の課題
- 頭痛、食欲不振、不眠など身体的な不調

これらが発達障がい児に表れやすい二次障害だと言われています。これは発達障がい児が他者とのコミュニケーションをうまくとれないがために発生します。「自分のことは誰もわかってくれない」「自分は何もできない」「いつも自分ばかり叱られる」このように考えるようになってしまい、さらに自己肯定感が低下していきます。その結果二次障害につながっていきます。この状況を変えるためには保護者や支援者が発達障がい児のよき理解者となり、接してあげることが必要不可欠となります。その具体的な方法については後述します。

二次障害による負のループ

先生や保護者に叱責される

自分の悪い分を表現できない

問題行動の発生

誰も認めてくれない

自己肯定感が低い低下

次に二次障害に関連する統計情報を紹介します。二次障害がいかに危険で避けなければならないことが、強く認識していきましょう。また現時点で二次障害の傾向がみられる場合は、早急に手を打つ必要があります。二次障害の状態が長期継続くと社会復帰が非常に困難となります。

はじめに令和6年に文部科学省が公表した資料を参照し、いじめに関する統計を確認していきます。^(*)この調査では小学校、中学校、高等学校、特別支援学校におけるいじめの認知件数についてまとめられています。あくまでも認知件数であるため、実際の数よりも少ない可能性があるという点は頭に入れておきましょう。^(**)

図表1：いじめ認知件数の推移
令和5年度 児童生徒の問題行動・不登校生徒指導上の課題に関する調査結果の概要より引用

年度	小学校	中学校	高等学校	全校種・計
平成20年度	100,000	50,000	20,000	170,000
平成21年度	120,000	60,000	25,000	205,000
平成22年度	150,000	70,000	30,000	250,000
平成23年度	180,000	80,000	35,000	295,000
平成24年度	220,000	90,000	40,000	350,000
平成25年度	250,000	100,000	45,000	395,000
平成26年度	280,000	110,000	50,000	440,000
平成27年度	320,000	120,000	55,000	495,000
平成28年度	350,000	130,000	60,000	540,000
平成29年度	380,000	140,000	65,000	585,000
令和元年度	420,000	150,000	70,000	640,000
令和2年度	450,000	160,000	75,000	685,000
令和3年度	480,000	170,000	80,000	730,000
令和4年度	520,000	180,000	85,000	785,000
令和5年度	588,030	172,703	17,014	732,568

令和5年度の小・中・高等学校及び特別支援学校におけるいじめの認知件数は732,568件でした。前年度からは50,620件の増加となり、過去最多となっています。統計を見ると小学校でのいじめ認知件数が圧倒的に多いことがわかります。学年別のいじめ認知件数を確認してみましょう。^(***)

2章 支援・療育方法とケーススタディ

2-1 発達障がい児の療育とは

初めに療育の定義を確認しましょう。こちらは日本大百科全書から引用します。

「心身に障害をもつ児童に対して、社会人として自立できるように医療と教育のバランスを保ちながら並行してすすめること。東京大学名誉教授の高木清次によって提唱された概念で、「治療をしながら教育すること」が大切であるという意味合いが込められている。すなわち「療」とは医療あるいは治療を意味し、「育」とは養育や保育もしくは教育を意味する」

教育と医療のバランス

どちらかに偏るのではなく、バランス良く両方を進めていく

このことから医療と教育のバランスを保つことが非常に重要だと分かります。しかし療育に対しては賛否両論あり、幼少期の療育はすべきではないという意見もあります。確かに幼少期に医療としての面を意識しすぎた療育をするのは良くないと言えるでしょう。

テキスト（公式マスターブック）sample2

3章 脳科学の面から子どもの特性を知る



子どもに良い習慣を身に付けさせたいという思いは多くの保護者や支援者の願いでしょう。そのためどのような工夫をされていますか？習慣化させるためには脳の仕組みを理解することが非常に重要であり、近頃なのです。

脳科学を確証する前に、今から述べることを理解し習慣の重要性を確認しましょう。皆さんの人格を作っているものは、『習慣』なのです。心理学者ウィリアム・ジェームズは『心が変われば行動が変わる、行動が変われば習慣が変わる、習慣が変われば人格が変わる、人格が変われば運命が変わる』と述べています。また古代ギリシアの哲学者アリストテレスは『人格は繰り返し行うことの集大成である。それ故、秀でるためには、一度の行動ではなく習慣が必要である』と述べています。これらの言葉からも習慣の重要性が確認できます。

では、どのようにして習慣を作り上げていくか確認しましょう。大脳は行動を習慣化させるために『60秒』という時間がとても重要だと知られています。これは『習慣化の60秒ルール』といいます。ある行動をして60秒以内に起こる周囲の反応で、脳が快か不快かを判断します。その時に脳が『快』と判断したことを習慣化ネットワークに組み込もうとしますのです。

例えば、食事をした時に60秒以内に起こるのは、食べ物の味を味わうことです。そして、少し遅れて空腹感も満たされてきます。それに比べて、食事をして体重が減ってくるのは何日、何十日も後のことです。頭では、痩せたほうが良いとわかっていても、食事の量を減らしたところで、すぐには体重が減らないことがダイエットを続けられない原因と言われています。つまり食事は60秒以内に脳が『快』になるが、ダイエットは60秒以内に効果が現れないため『快』にならず、習慣になりづらいということです。

更に最新の脳科学では、この60秒ルールを何回繰り返すことで習慣化されるかという回数も明確になっています。その回数は『200回』と知られています。子どもに習慣を自発的に行う習慣を身に付けさせたいのであれば、宿題をやっている60秒以内に、子ども

の脳を快にする仕掛けを施し、それを200回繰り返す必要があるということです。スムーズにこの働きかけができたとしても、習慣化までに半年以上かかることがわかります。一度習慣化ネットワークに組み込めば、何も考えず、意識しなくとも行動できるようになります。よき習慣を身に付けるには、このような脳の仕組みを理解し、子どもにアプローチするというよりも、子どもの脳に直接アプローチすることが重要であると言えます。

習慣化60秒ルールと200回



60秒以内に子どもの脳を快にする...



習慣になる



Point

- ・60秒以内に脳を快にする
- ・これを200回繰り返す



快にしないで...習慣にならない

4章 人の道に立つためのしつけ教育

・素直な心を芽生えさせるしつけ
『叫ばれたらすぐにハイと返事のできる子にする』

これも理由は先ほどと同じです。ポイントが『我』を抜くことなのです。例えば、子どもがゲームに熱中しているときに『●●（名前）！』と呼んだ時に『ハイ』とすぐに返事をさせるのです。ここで一回ではありますが、我が抜けていることが分かるでしょう。人間は時として、ちょっとした意地や張り（ツッパリ）精神で引くに引けない状況になることがあります。ハイと返事をするので、つまらない意地や張りを捨て去ることができ、本人も場の雰囲気（空気）も一度変えることができる技術なのです。

またこの挨拶は自分から他者に近づく在り方ですが、それに対し『ハイ』という返事は他者からの呼びかけに対応する在り方です。獎勵する行為において、最も簡潔で美しい言葉が『ハイ』なのです。ハイは『ハ』音と『イ』音の合体です。ハ音は口を開ける解放です。イ音は口を閉じる緊張です。ですからハイという言葉には、開閉を意味し、確かに聞き取った（受け取った）というメッセージも含まれているのです。



この章で述べたように、これからの時代は認知能力（IQ・学力・記憶力）よりも非認知能力が求められる時代となります。非認知能力の中には、思いやりや社交性、協調性が含まれます。それらがその子の幸せにつながるという語は前述のヘクマンの言葉の通りです。

では、思いやりの心をどのように伸ばしていくのでしょうか。ここでは2つのしつけを紹介いたします。

思いやりの心を芽生えさせるしつけ
『物を脱いだら揃えられる子にする』
『床を立ったら椅子を入れる子にする』



雑草（我）を抜き、綺麗な花（素直さ）が芽生える場所を作る



たったこれだけのことです。多くのご家庭で実践されているのではないのでしょうか、このしつけがなぜ思いやりの心につながっていくのか、それは『未来（先）のことを想像できるようになるから』なのです。子どもは目の前のことに全力で取り込む傾向が強く、未来のことを想像して行動することは意外に難しいものです。そのため想像を働かせるときに以下のように伝えてみましょう。

「●●さん、玄関に靴を脱ぎっぱなしにすると、次に入ってくる人はどう思うかな？もし●●さんが、おうちに帰ってきた時に、靴がバラバラに散らかっていたら、いやだよな。なんか気持ち悪いし、自分の靴をどこに置けばよいか分からないよ。だから他の人のためにも、靴をしっかりと揃えてきれいに置こうね」

このように『次に来る人（未来）』に思いを馳せる習慣をつけるのです。そのうえで「●●さんがきれいに靴を揃えてくれるから、靴を履きやすくて助かるよ」

と伝えてあげることで、言葉で言われたことが、具体的なイメージとして子どもの脳に焼き付きます。元来人間は、人の役に立つことを好むものだから、イメージまでしっかり

テキスト（公式マスターブック）sample3



最近では体罰に対して厳しく捉える風潮があるため、厳しく叱って育てるというよりも誉めて育てるということをもっとにされているご家庭も多いのではないのでしょうか。誉めることにより本人のやる気が引き出され、学習の成果も向上したと実感されている方もいると思います。それらの効果は間違いなくあるでしょう。しかし、その誉めることも気を付けべきポイントがあるのでそこを確認しましょう。

① 誉めているつもりが、実等価を精査している可能性がある

これは特に兄弟姉妹がいる場合に多いのですが、どちらか一方に対して誉めて、どちらか一方を誉めないという形になると、誉められなかった子は劣等感を抱くものです。ただこれは『二人が同じ課題に取り組んでいた場合』と捉えてください。例えば、お風呂を二人でやっていて、一方だけを積極的に誉めるともう一方に劣等感が、どちらか一方がお風呂を洗っていないければ、その誉め言葉が劣等感につながることはありません。ですが、同じような作業をしている場合に特に意識をするようにしましょう。保護者としては両方を誉めているつもりでも、どうしても年少者に対して厳しく誉めるような印象になってしまうことがあります。この辺りは保護者がどのような誉め方をしているのが重要というよりも、子どもがそれぞれどのように感じるか、解釈をするのが重要です。間違ったメッセージを送らないようにするためにも、このような危険性があるということを理解しておくといでしょう。

② 誉められないのであれば、誉められるべき行動をとらなくなる可能性がある

誉められることが目的となってしまったりはいたしません。誉めてもらいたいという欲求が強くなると、保護者や支援者が見ていない時には特に何もしないのに、保護者や支援者が見ていない時だけ良いことをしているように見せるといった行動につながる可能性があります。これが続くと社会に出た際に、上司が見ていなければさぼる。上司がいる時だけやっているフリをするといった行動が見られるかもしれません。もし子どもがこのような社会人になると想像したらいかがですか。このような人間が周りの人間から愛されて、

楽しい人生を過ごしているとは思えないでしょう。しかし、誉められることが常習的になるといつしか目的が変わってしまいます。その点は注意が必要です。

③ 誉められることでしか、存在価値を感じられなくなる可能性がある

上記②の状態から一歩進むとこの心理に行きつきます。この状態になると目的が『人の役に立つこと』から『誉められること』に完全に変わってしまいます。すると先ほどのようなことが発生したり、誉めてもらうために不正まで働いたりすることになりかねません。さらに誉められないことがわかると、自分を誰だと思えるようになるばかりか、他者に対して恨みの念を持つこととなります。この様子は小学生でもたまに見られます。

1つ事例を紹介します。勉強がよくできる子で、性格は少しおとなしめ。この子はいつもテストでよい点数を取って保護者に誉められていました。しかしある時期からテストについていけなくなりました。すると、この子は誉めてもらうために先生にばれないように、カンニングをして点数を稼ぐようになります。ただある時カンニングがばれて、保護者や先生から叱責を食らうことになりました。するとこの子は他者へ恨みを持ち、遂には中学から非行グループに加入してしましました。これは誉められることが目的となってしまい、人生の転機を狂わせた典型的なケースです。

誉めることの裏には、このようなリスクがあるのです。そしてもう1つ問題なのは、誉めることで『上下の関係を築くことになる』ということです。誉める行為は、上の者が下の者に対して誉めるという性質があります。上司が部下を誉めるのは一般的ですが、部下が上司に対して『仕事できますね』とは言いせんよね？このように『上から下に』が基本です。

しかし、子どもの個性や能力を引き出すためには、横の関係であることが求められます。上からもを言うのではなく、同じ目線で歩んでいくことが求められます。そういった観点から見ても、過剰に誉める行為は子どもの発育に影響を及ぼす可能性があると言えます。そのため言葉のかわりに『承認の言葉』や『感謝の言葉』を送るようにしましょう。この言葉を使うことで、横の関係ではなく横の関係を築くことができるようになります。

と思いませんか？すくにあきらめてしまうのは「もう駄目だ、やっても意味ない」と子どもながらに思っているからです。その考え方を変えるのです。成功哲学の著書を多数執筆しているナポレオン・ヒルの言葉を紹介します。^{①②③④}

『失敗や逆境の中には、全てそれ相応にそれ以上の、大きな利益の種子が含まれている』

一般的に失敗と思われる出来事などをどのような考え方にすると、失敗ではなく成功の糧になるのか教を授けていきます。

- ・サッカーの試合でPKを外して、自分のチームが負けてしまった
⇒PKを蹴る人のプレッシャーや外した人の気持ちも理解できた。またその時にチームメイトからどのように声をかけられると気持ちが楽になるのかも理解できた！
⇒だから、前向きに練習に取り組める！人に優しくなれる！
- ・算数のテストで点数が悪かった
⇒自分の苦手なところが明確になった。その苦手な部分を集中して勉強すればできるようになるはずだ！
⇒だから、勉強する意欲が湧く！

このような考え方に変換することで、前向きに変えることができるでしょう。悪い方を変えればポジティブ思考となります。どんな出来事でも次に活かせるのです。さらに子ども時代は、将来人になって人の役に立つための修業の場です。そう考えると失敗をせずに通過するなどあり得ない話でしょう。この時期に多くの失敗を経験して、失敗の乗り越え方を体得することが、その子の生きる力へと変わっていくのです。子ども時代に一度テストで失敗したり、悪い事で失敗したからと言って何か人生に重大な落ち度になるのでしょうか。そんなことはありません。子どもにはたくさん失敗という名の成功の糧をプレゼントしてあげましょう。その糧は樹木とともに成長し、将来きれいな花が咲くことでしょう。



菊さんは、自主性はありますが、また主体性もあると言えますか？もしこのように質問されたら、ちょっと困りがパニックになってしまうことでしょう。ただしこの2つの言葉は皆さん知っている言葉ですよね。特に主体性は2020年の教育改革でも挙げられているキーワードなので注目されている方も多いのではないのでしょうか。では質問を変えます。

『自主性と主体性の違いは何ですか？』

いかがでしょう。理解に答えられましたか？この質問を塾の先生、英会話教室の先生、上場企業の社員さんなど多くの方に聞いてきましたが、正しく答えられた方は1割にも満たなかったのです。日本語は多様な表現のできる言語ですが、その意味を正しく理解し、正しく活用されている方は多くはないのかもしれないですね。それでは解説にうつります。

- 『自主性』とは、『決められたことを人に言われず自ら行動すること』
- 『主体性』とは、『自らテーマや目的を求め、自ら行動すること』

自主性は偏屈さの習慣や常識などが当てはまるでしょう。親子間で『ご飯を食べたらすぐに歯を磨こう』とルールを決めておく。そのルールを保護者に言われなくても自ら実行できるようになったら自主性が身に付いた。となるのです。それに対して主体性は偏屈さだけでなく復讐前に明日着る洋服を準備しておくという考え行動することです。このように論に言われたわけでもないけど、自ら考え行動することができたら、主体性が身に付いたと言えます。社会が求めているのはこの主体性なのです。ビジネスの場を想像すると分かりやすいでしょう。

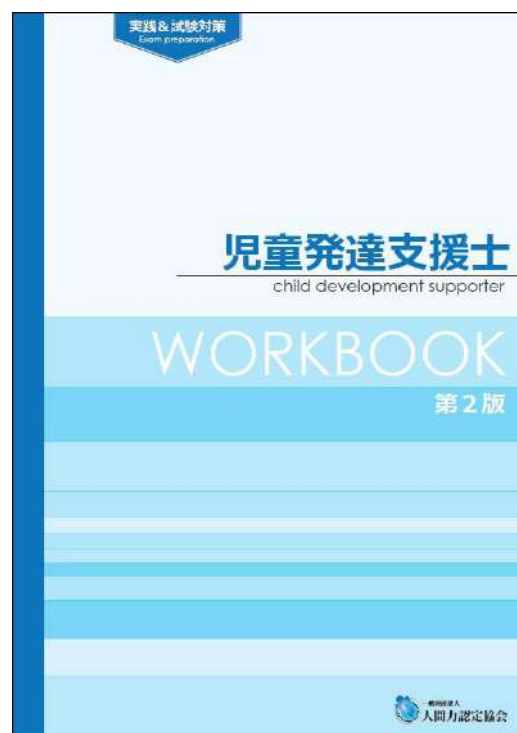
- ・言われたことだけを行う社員（自主性）
- ・言われなくても会社の発展のために、自ら考えて行動できる社員（主体性）

児童発達支援士 実践ワークブック構成

実践ワークブックでは、実際に支援をする際に
どういった心構え、アプローチをするのかをワーク形式で学べます。
そもそも支援をするとはどういったものでしょう？
明確な答えが今、導き出せますか？
何が目的ですか？ゴールはどこですか？なぜそう思うのですか？
このような問いを繰り返しながら、理解の階段をのぼっていきます。

【構成】

- ワーク① 児童発達支援士を学ぶにあたって
 - ワーク② 支援士に必要な不可欠な自己分析
 - ワーク③ あなたが支援したい相手とは
 - ワーク④ 話を聴く姿勢と話す時の態度
 - ワーク⑤ 見方を変えるリフレーミング
 - ワーク⑥ 問題を解決するためのステップ
- 1章 - まとめと試験対策
 - 2章 - まとめと試験対策
 - 3章 - まとめと試験対策
 - 4章 - まとめと試験対策
 - 5章 - まとめと試験対策
 - 6章 - まとめと試験対策



試験対策動画について

試験対策動画では、公式マスターブックで
学んだ内容の中から、試験でよく出題される
問題だけをピックアップして解説しています。
オンラインでいつでも視聴が出来ます。
(DVDをご希望の方はオプションにて購入可能)



実践ワークブック sample

ワーク① 児童発達支援士を学ぶにあたって

1. 児童発達支援士の役割と使命とは

現在日本では児童全体の15%が何らかの発達障害を抱えているといわれています。しかし、教師や親を含め、社会の発達障害児に対する理解や支援は十分とは言えず、人知れず悩み苦しんでいる子供たちがたくさんいます。このような時代に必要とされているのが児童発達支援士なのです。子供たちが本来持っている能力や才能を伸ばすための支援を行うのがその使命です。

まずは、苦しんでいる子供への接し方を考えてみましょう。

2. 支援をするとはどういうことなのか

「支援する」とは最終的にその人が自分自身で問題を解決できるようにサポートすることです。支援士が問題自体をすべて取り除くことが良い支援とは言えないのです。そのため従関係ではなく、傍らに寄り添い、子供の声に耳を傾ける様な関係を築くことが重要となります。また人を支援する際には、その人が何に困っているのかを知ることが大切です。両者によっても、人によっても困っていることやできないことは異なるからです。人を支援するにはその人の状況をよく知って、それに合わせて支援することが重要です。

コラム：発達障害児はマイナーだからいじめられる

発達障害児（自閉症・ADHD・学習障害）はいじめや差別の対象になる確率が高いです。それは必然的に起こる比率の問題だからです。発達障害児の比率は一般では全体の15%とされています。その他が85%ですから発達障害児は少数派ということになります。いわゆるメジャー（多数派）なのかマイナー（少数派）なのかの差です。学級委員を決めるにも、政治家を決めるにも、なんでもかんでも多数決、多数決で決まったものは、なんとも正しくないような気がして誰も反対できない世の中なのです。多数決とは主に、どうしても意見がまとまらないときの最後の手段として用いられているのですが、最初から選挙のように多数決で決めるものもあります。多数決の結果を正しいとする判断は、多数派が正しいという容易な判断につながります。このことが少数派への偏見が生まれない原因であり、いじめがなくなる原因なのだと当協会では考えています。発達障害の特性だけが問題ではないことを理解しましょう。

3. ワーク実践

1. 苦しむ子供に接するとき、あなたが心掛けていることは何ですか？（3つに絞って書き出してみましょう）
2. 苦しんでいる時にあなただったらどう声をかけて欲しいですか？（なるべく具体的な言葉を書き出してみましょう）
3. 支援をする際は、親と子供、先生と子供のような縦の関係ではなくて横の関係も築くのが大切です。それはなぜか、あなたなりの言葉で書き出してみましょう！

まとめ（自由にメモを取りましょう）

ワンポイント
ここからのワークでは読むだけでなく、実際に書き込みをしてみましょう！

アレンジ
この間はお子様にも投げかけられることが出来ます。子供が他の子供を支援するのです。支援した子は自信になり、支援された子は安心感を得られるでしょう。

ワーク④ 話を聴く姿勢と話す時の態度

1. 最高のアドバイスより最高の姿勢や態度を

支援をする時に大切なことは、「最高のアドバイス」を伝える事ではありません。それよりも大切なのは、寄り添う姿勢であり、あなたの態度です。その態度の写しとして子供のあなたへの態度が決まるのです。ワーク③で学んだ質問テクニックを活かすためにも、基本をしっかりとおさえます。

2.メラビアンの法則から学ぶ見た目の重要性

メラビアンの法則とは、1971年にカリフォルニア大学ロサンゼルス校の心理学者であるアルバート・メラビアンが提唱した概念です。「感情や気持ちを伝えるコミュニケーションをとる際、どんな情報に基づいて印象が決定されるのか」ということを検証したもので、その割合が示されています。ビジネスセミナーなどでもよく耳にする法則のひとつです。

メラビアンの法則

情報の種類	概要	影響度
視覚情報	見た目、しぐさ、表情、目線	55%
聴覚情報	声の質、大きさ、速さ、口調	38%
言語情報	言葉そのもの、会話内容	7%

このことからわかるように、話を聴く姿勢や話す態度は非常に重要です。多くの方が「何を話したらいいのかな？」と悩んでいる「言語情報」の影響度はわずか7%。言葉の内容よりも支援士の態度が大切なのです。

3. ワーク実践

1. まずは話を聴く姿勢を確認していきます。

【椅子に座って話を聴く場合】

- ①対面になるのではなく、横（右側）に座る横に座る方が相手がか心を聞きやすい
- ②姿勢をたたい、少し前傾姿勢になるようにする（足は揃えない）
- ③下図のようにお互い斜めに向き合う
- ④相手を見るときは、目だけで見るのではなく体ごと向ける
- ⑤手はテーブルの上に置き、無駄に動かない

【立って話を聴く場合】

- ①胸組みをせずピンと立つ
- ②対面ではなく、横（右側）に立つ
- ③パーソナルスペースに入らない程度の距離感を保つ
- ④相手を見るときは、目だけで見るのではなく体ごと向ける
- ⑤足や手をぶらぶらさせない

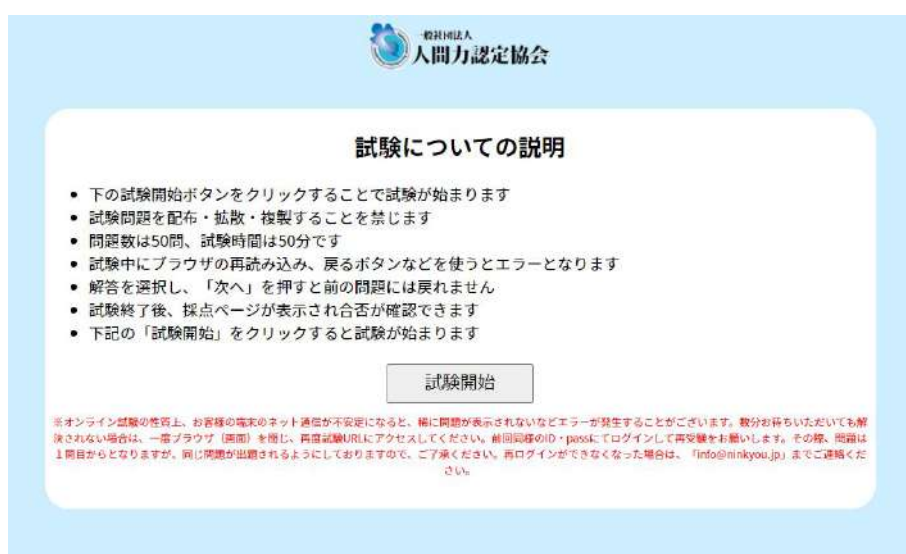
立ったまま話をすると、どうしても落ち着かないものです。そのため可能範囲は着席して話を聴ける環境を整えましょう。あえて環境を整えることで相手に対して「しっかりあなたの話を聴きたい」というメッセージを与えることも出来るのです。

ワンポイント
左側ではなく相手の右側の右側に座るのは、相手に安心感を与えやすいからです。左側からだと威圧感を与えやすいと言われています。

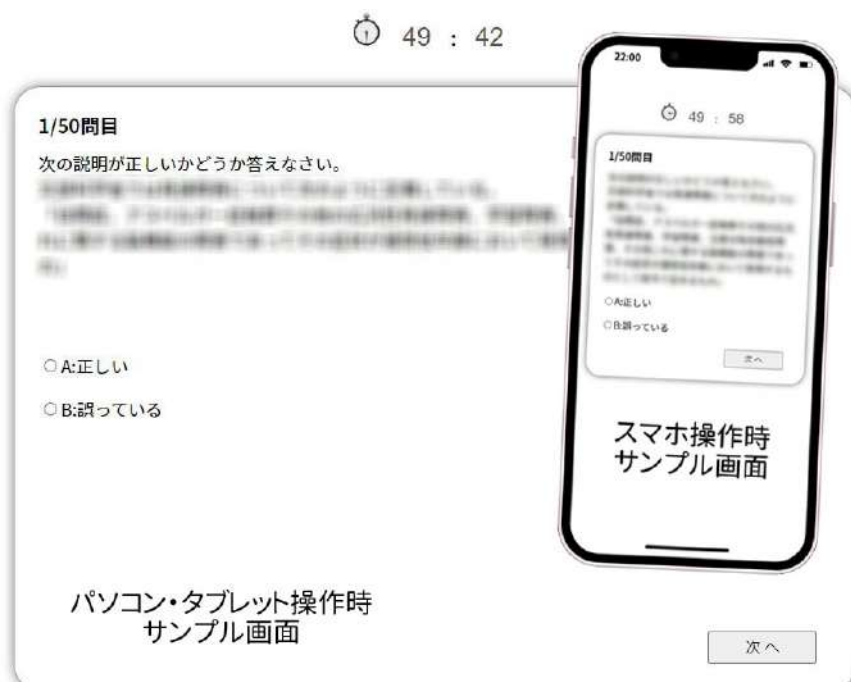
オンライン試験 sample

試験はご自宅にてオンライン（PC もしくはスマホ）にて行います。
日程を他の方とあわせ一斉に行うのではなく、個別に実施します。
基本的には365日、24時間試験を受けることができます。
試験時間は 50分、問題は 50問で 35 問以上正解で合格です！

<試験サンプル画像 1>



<試験サンプル画像 2> ※問題は2択もしくは4択となり、記述問題はありません



試験問題保護のため
問題の一部をぼかしています

発達障害コミュニケーション サポーター (通称：コミュサポ)

NEXT
➔

	
商標登録証 (CERTIFICATE OF TRADEMARK REGISTRATION)	
登録第6633092号 (REGISTRATION NUMBER)	
商標 (THE MARK)	
(一社)人間力認定協会 認定 発達障害 コミュニケーションサポーター	
指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分 (LIST OF GOODS AND SERVICES)	
第45類	身の上相談、乳幼児および児童の保育（施設において提供されるものを除く。）
商標権者 (OWNER OF THE TRADEMARK RIGHT)	静岡県静岡市葵区鷹匠3丁目12番8号 901号室 一般社団法人人間力認定協会
出願番号 (APPLICATION NUMBER)	商願2021-115179
出願日 (FILING DATE)	令和 3年 9月 2日 (September 2, 2021)
登録日 (REGISTRATION DATE)	令和 4年10月27日 (October 27, 2022)
この商標は、登録するものと確定し、商標原簿に登録されたことを証する。 (THIS IS TO CERTIFY THAT THE TRADEMARK IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)	
令和 4年10月27日 (October 27, 2022)	
特許庁長官 (COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)	
濱野 幸	

発達障害コミュニケーションサポーターの概要

■資格概要

発達障害コミュニケーションサポーターは、発達障がい児の持つ特性によって引き起こされる二次障害を防ぐために、年代や特性に合わせてコミュニケーションスキルを高める方法を体系的に学び、認定する資格試験である。コミュニケーションスキルを高め、良好な人間関係を構築する力を身に付けることで、幸福な人生を歩む子どもを育てることが目的である。

■資格の制度

当資格は履歴書への記載可能な民間資格です。資格の「登録費」「年会費」「更新費」は不要。資格取得に必要な費用は受講料と試験料のみ。（講座を受講した者のみ受験可能。1講座申込につき1名の受験資格を付与）

■標準学習時間の目安と受講期限

標準学習時間の目安は20時間～30時間程度としており、平均すると2、3カ月程度で資格習得される方が多くなっております。

受講期限は8カ月と長期間ございますので、お申し込み後いつ受験して頂いても結構です。ゆっくり学習をしたい方やまとまった時間を作りにくいという方でも安心です。

■受験資格

受験資格は特にありません。学歴・経歴・年齢は一切問いません。

■試験について

ご自宅にてオンライン試験を受けて頂きます。試験日は随時となりますので、皆様のご都合に合わせて365日好きな日を選択いただけます。（受験する時間もお好きな時間で構いません）パソコン、タブレット、スマホいずれかのデバイスとインターネット環境をご用意ください。

教材の内容

発達障害コミュニケーションサポーターの教材は主に3種類ございます。公式マスターブック（テキスト）と実践ワークブックをご自宅にてお好きな時間に学習頂けます。全ての項目の学習を終えたタイミングで試験対策動画を確認すると効果的です。LMS（eラーニング）にも対応しているため外出先でも学習ができます。（動画はオンライン上で視聴ができるようにしております。DVDを希望の方はオプションで購入可能）

- | | |
|------------|------------|
| ①公式マスターブック | 1冊（128ページ） |
| ②実践ワークブック | 1冊（36ページ） |
| ③試験対策動画 | 41分程度 |



コミュサポ テキスト章構成

1章 発達障がい児が抱えるコミュニケーションの課題

- 1-1 日本独特のコミュニケーション文化
- 1-2 統計からみる対人関係の問題
- 1-3 発達障がい児の二次障害といじめ問題
- 1-4 自閉スペクトラム症（ASD）の特徴と課題
- 1-5 注意欠如多動症（ADHD）の特徴と課題
- 1-6 限局性学習症（SLD）の特徴と課題
- 1-7 コミュニケーション症の特徴

2章 支援者に求められるコミュニケーション能力

- 2-1 子どもに好意を持ってもらうことが第一歩
- 2-2 好かれるための基本事項
- 2-3 子どもの話を引き出す傾聴スキル
- 2-4 感情の一致を起し関係を深める
- 2-5 ネガティブ発言に対する対応

3章 学童期のコミュニケーショントレーニング

- 3-1 学童期に習得したいコミュニケーションスキル
- 3-2 発声（構音）トレーニング
- 3-3 声のボリューム調整と最適化
- 3-4 挨拶や自己紹介などの定型文トレーニング
- 3-5 表情の読み取りトレーニング
- 3-6 聴きかたトレーニング

4章 青年期のコミュニケーショントレーニング

- 4-1 青年期に習得したいコミュニケーションスキル
- 4-2 プレゼンテーション（PREP法・TAPS法）
- 4-3 一対一のトーク（トークのルール、質問スキル）
- 4-4 少人数のディスカッション（意見を受け入れる、意見を整理する）

5章 デジタルコミュニケーション

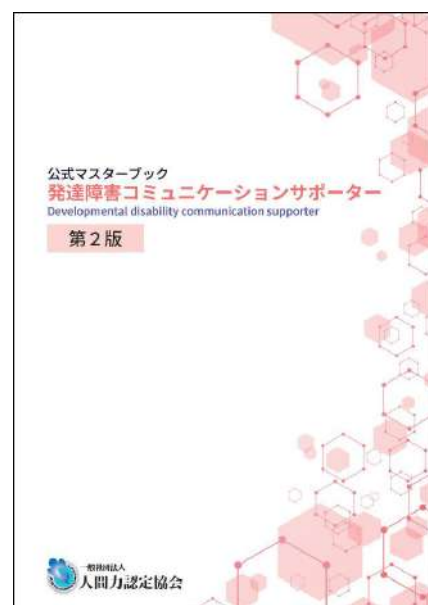
- 5-1 デジタルコミュニケーションは現代の必須ツール
- 5-2 発達障がい児の武器になるデジタルコミュニケーション
- 5-3 LINEやSNSのダイレクトメッセージ、メールの注意点と利用ルール
- 5-4 SNS・掲示板の注意点と利用ルール

コミュサポでは、人間関係を構築するためのコミュニケーションスキルを段階を追って学んでいくことができるようになっています。

最終的には自立を支援できるようにすることを目的としているため、プレゼンやディスカッションといった内容も取り扱っています。

またそれだけでなく、デジタルコミュニケーションという新しい時代で生き抜くためのスキルにも触れており、ここをきっかけにITを自らの武器にして欲しいと考えています。

全ては子どもの自立のために！



テキスト（公式マスターブック）sample

1章 発達障がい児が抱えるコミュニケーションの課題

1-7
コミュニケーション症の特徴

発達障害という自閉スペクトラム症、注意欠如多動症、学習障害の3つを思い浮かべる方も多いと思います。ただし前述したとおりDSM-5-TRでは発達障害（神経発達症群）は、知的発達症群、コミュニケーション症群、運動症群、他の神経発達症群も含まれています。最近では、コミュニケーション障害という言葉がニュースやSNSでよく目にするようになりました。この意ではコミュニケーション障害について確認していきます。わかりやすさを重視するため、本項に限りDSM-5-TRに明記されている正式な名称である「コミュニケーション症」ではなく、広く使われている「コミュニケーション障害」という表現を一部使用して紹介していきます。

現代では、コミュニケーション障害という言葉には2つの使い方が存在しています。

- ・発達障害としてのコミュニケーション障害（コミュニケーション症）
- ・性格の一部としてのコミュニケーション障害（以下コミュ障）

YouTuber や著名人の方が「私コミュ障なので」と発言されることがありますが、この場合のコミュ障は発達障害で分類されているコミュニケーション障害と別の意味で利用されていることが多いのではないかと考えられます。この場合は単に「コミュニケーションが苦手」とか「面接応答に対応できない」ということをコミュ障と表現されているケースが多いでしょう。

本項では発達障害としてのコミュニケーション障害に対する基礎知識とトレーニング法を紹介するだけにとどまらず、いわゆるコミュ障というコミュニケーションが苦手な方のためのトレーニング法も紹介していきます。

ただ支援者としては、発達障害としてのコミュニケーション障害（コミュニケーション症）とコミュ障を正確に分離して考えなければいけません。この点を混同してしまうと

1章 発達障がい児が抱えるコミュニケーションの課題

ポートの方法を語る危険性があります。発達障害は脳の障害です。一方、コミュ障は過去の経験などからくる性格の一部のようなものです。障害として把握し対処法を考えるのが、性格として把握し対処法を考えるかで支援の方法は異なります。適切な支援が寄せなければ当事者を苦しめることになりかねませんので、正確に分離して考える必要があるのです。

この項目では、発達障害の一部であるコミュニケーション症とはどのようなものかについて確認していきます。DSM-5-TRではコミュニケーション症群を下記の5つに分類しています。

【コミュニケーション症群】

- ・言語症
- ・語音症
- ・児童期発達流暢症（吃音）
- ・社会的（語用的）コミュニケーション症
- ・コミュニケーション症、特定不能

コミュニケーション障がい者数（成人と小児含む）は、音声言語障害346万人、聴覚障害1300万人という推定結果が京都学園大学の調査で紹介されています。分類としては下記のように報告されています。（京都学園大学）

図表1：音声言語障害と聴覚障害の推定人数
京都学園大学総合研究所 発達コミュニケーション障害と特定障害者数
コミュニケーション障害と聴覚障害者数を参考に作成

音声言語障害（推計：346万人）	
音声（発声発語）	言語
<ul style="list-style-type: none"> ・音声（発声）障害 （器質性・機能的・心原性・無機能的） ・構音障害 （器質性・運動性・機能的・言語性・感覚性） ・音韻障害発語失行症 	<ul style="list-style-type: none"> ・言語発達遅滞 ・特異的言語障害 ・失語症 ・混乱に伴う言語 （認知症に伴う言語低下） ・読み書き障害

3-1
学童期に習得したい
コミュニケーションスキル

この章では学童期の子供のコミュニケーショントレーニングについて紹介していきます。まずはこのチェックシートをご覧ください。

☐	話を聴く	相手の目を見て話をしたり聴くことができる
☐		話を聴く時はじっとしている
☐		話を最後まで聴くことができる
☐		相手が話している時にささげることはない
☐	話をする	正確な発音ができる
☐		語彙力が豊富である（同じ表現に偏らない）
☐		抑揚をつけて話すことができる
☐		声の大きさを調整できる
☐		話す速さは適切である
☐		言いたいことを相手に伝えることができる
☐		一方的に話すのではなく交互に話ができる
☐		待たせたり中断して話ができる
☐		話す時に途切れたり、つっかえたりしない（どもりがない）
☐	非言語的コミュニケーション	相手の表情から感情を推測できる
☐		相手の声色から感情を推測できる
☐		身振りや手振りを使って話すことができる
☐		冗談や比喩を理解できる

3章 学童期のコミュニケーショントレーニング

学童期と言うと一般的には6歳～12歳までの小学生を指しますが、当費格では4歳、5歳の子供も含めた4歳～12歳までを対象にした解説をしていきます。

まず学童期に身に付けておきたいコミュニケーションスキルを確認していきましょう。左ページにあるチェックシートに、子供の様子を見て当てはまる項目がいくつかあるか確認してみましょう。

いかがでしょうか？こちらはあくまでも一つの目安としてご利用ください。このチェックシートにチェックが多くついた場合は、コミュニケーションの基礎が固めに構築されていることを意味します。逆にあまりチェックが付かなかった場合は、この後に紹介するトレーニングを通じてコミュニケーション力を高めていく必要があります。しかし発達障害の子供を育てていらっしゃる方の中には、こう思う方もいらっしゃるかもしれません。

「発達障害の特性で空気を読むことは出来ないから、トレーニングをしても効果はないのではないか？」

確かに、発達障害の特性を持つ子供の場合は、空気を讀んだり、比喩を理解したりということが苦手です。それは脳の特性であり、生まれ持ったものでもあります。しかし、ケーススタディを繰り返すことによって、「こういう表情の時はこう思っているのか」と理解していくことは可能です。いわゆるソーシャルトレーニングが有効なのです。その証拠に幼少期は発達障害による特性の影響で、交友関係にトラブルが多発していた子でも、成長するにつれそのトラブルは激減し、大人になる頃には誰にも指摘されない程度になったという事例は多々あります。ご存じの通り、発達障害は現在の医学では治ることはないと言われる障害です。そのことから上記の事例では、経験を通じて世渡りの仕方、対応の仕方を学び対処できるようになったと考えるべきでしょう。しかし今度はこのように思われるかもしれません。

「だったら自然と成長するのを待てばよいのではないか？」

それでもいいと思います。実際に自然と成長し対処できるケースもあるでしょう。しかし、大切なことは子供が「今」抱えている自己肯定感を低下させないことです。

コミュサポ 実践ワークブック構成

実践ワークブックでは、実際に支援をする際に
どういった心構え、アプローチをするのかをワーク形式で学べます。
そもそも支援をするとはどういったものでしょう？
明確な答えが今、導き出せますか？
何が目的ですか？ゴールはどこですか？なぜそう思うのですか？
このような問いを繰り返しながら、理解の階段をのぼっていきます。

【構成】

- ワーク① 感情の一致トレーニング
 - ワーク② 発声トレーニング
 - ワーク③ 声のボリューム調整トレーニング
 - ワーク④ 挨拶や自己紹介のトレーニング
 - ワーク⑤ 感情を読み取るトレーニング
 - ワーク⑥ 聴く力を鍛えるトレーニング
 - ワーク⑦ 意見を伝えるトレーニング
 - ワーク⑧ 相手に質問をするトレーニング
 - ワーク⑨ 意見を整理するトレーニング
 - ワーク⑩ デジタルコミュニケーションの危険性
- 1章 - まとめと試験対策
2章 - まとめと試験対策
3章 - まとめと試験対策
4章 - まとめと試験対策
5章 - まとめと試験対策



試験対策動画について

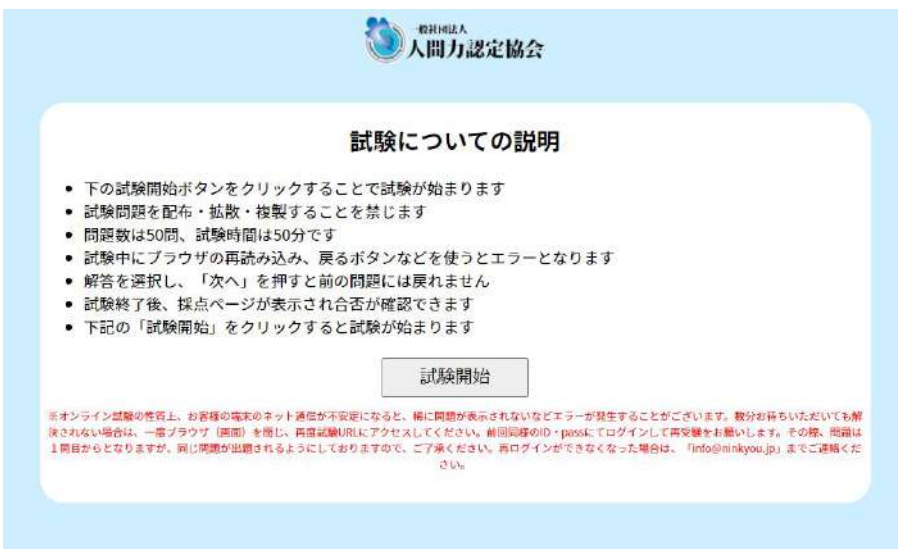
試験対策動画では、公式マスターブックで
学んだ内容の中から、試験でよく出題される
問題だけをピックアップして解説しています。
オンラインでいつでも視聴が出来ます。
(DVD をご希望の方はオプションにて購入可能)



オンライン試験 sample

試験はご自宅にてオンライン（PC もしくはスマホ）にて行います。
日程を他の方とあわせ一斉に行うのではなく、個別に実施します。
そのため都合の良い日、都合の良い時間に試験を受けられます。
試験時間は 50分、問題は 50問で 35 問以上正解で合格です！

<試験サンプル画像 1>



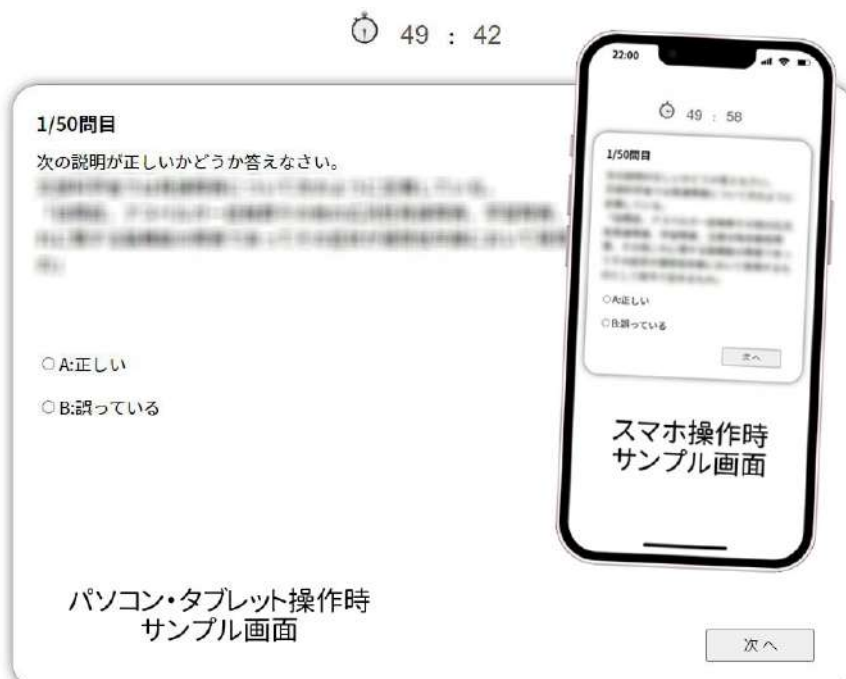
試験についての説明

- 下の試験開始ボタンをクリックすることで試験が始まります
- 試験問題を配布・拡散・複製することを禁じます
- 問題数は50問、試験時間は50分です
- 試験中にブラウザの再読み込み、戻るボタンなどを使うとエラーとなります
- 解答を選択し、「次へ」を押すと前の問題には戻れません
- 試験終了後、採点ページが表示され合否が確認できます
- 下記の「試験開始」をクリックすると試験が始まります

試験開始

※オンライン試験の性質上、お客様の端末のネット通信が不安定になると、稀に問題が表示されないなどエラーが発生することがございます。数分お待ちいただいても解決されない場合は、一度ブラウザ（画面）を閉じ、再度試験URLにアクセスしてください。前回同様のID・passにてログインして再受験をお願いします。その際、問題は1問目からとなりますが、同じ問題が出題されるようにしておりますので、ご了承ください。再ログインができなくなった場合は、「info@minkyou.jp」までご連絡ください。

<試験サンプル画像 2> ※問題は2択もしくは4択となり、記述問題はありません



① 49 : 42

1/50問目
次の説明が正しいかどうか答えなさい。

○A:正しい
○B:誤っている

スマホ操作時
サンプル画面

次へ

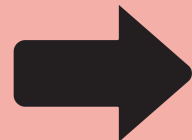
パソコン・タブレット操作時
サンプル画面

次へ

試験問題保護のため
問題の一部をぼかしています

お得なセット料金や
受講者限定サイトなど
付加価値が沢山!

NEXT



「資格を販売してそれで終わり」ではない。
それが当協会の強みであり特徴です

私たちの合言葉
「理解は支援の第一歩」

この資格を入り口にして、
共に支援の輪を拡げていきましょう!

セットで学ぶと理解が更に深まる!

ここで紹介した児童発達支援士と発達障害コミュニケーションサポーターはそれぞれ役割があり、セットで受講されることをお勧めしています。

【児童発達支援士】

- ・発達障害の特性や療育を学ぶ
- ・子どもの能力の引き出し方を学ぶ

【発達障害コミュニケーションサポーター】

- ・支援士として相手に好かれる原則を学ぶ
- ・自立のためのコミュニケーションスキルの高め方を学ぶ

学習順序は①児童発達支援士②発達障害コミュニケーションサポーターがお勧めとなります。

2科目セット申込で 20,000 円割引

当協会が運営する特設サイトから申込むと、
2科目セット申込が 20,000 円割引となり
51,500 円（税込）にて受講することができます。
(下記特設サイト以外からの申込の場合は割引適用はできません)

[2科目セット申込 特設サイト]
<https://ninkyou.jp/set-license/>



受講者専用 LINE で療育情報を GET !

当協会では受講者専用の「協会公式 LINE」をご用意しています。LINE を通じて、療育に関する動画や最新情報などを配信しています。試験合格後も受講期限内であれば過去の投稿を閲覧できるので、継続的な学びを得ることができます。

【LINE で得られる情報の一例】

- ・療育に関する解説動画
- ・発達支援に役立つ最新情報
- ・療育に関するアンケート
- ・協会の活動報告
- ・協会のセミナーやイベントの情報など

(友だち登録をした日から1年経過または受講期限が過ぎると新しい情報配信は停止します)



受講者専用「療育エピソード」サイトをご用意!

受講者の皆様にご協力いただき、療育に関する体験談を収集し、その情報を「療育エピソード」サイトという形で、受講者の皆様だけに公開しています。150以上の体験談があり「こんなときどうする?」が即座に調べられるため、大変便利なサイトとなっています。

【エピソードテーマの一例】

- ・療育施設利用に関するエピソード
- ・「困った」を乗り越えた成功エピソード
- ・通級・特別支援級に関するエピソード
- ・ADHD 児の投薬に関するエピソード
- ・カサンドラ症候群に関するエピソードなど
- ・子どもの二次障害に関するエピソード
- ・子どもに発達障害であることをどう伝えたのか?

(上記テーマの一部は公開準備中。随時更新しています)



受講者専用「サポート窓口」も完備!

受講されている方がいつでもスマホ（公式 LINE）からアクセスできる受講者専用のサポート窓口をご用意しております。

こちらでは、過去受講者から頂いたご質問の約 95% 程を網羅している「よくあるご質問集（受講者用）」をご用意しております。そのため事例を確認いただくだけで、ほとんどの疑問が解決できます。

もしそれでも解決できなかった場合は、専用窓口にてメールにて対応をさせていただきます。

その他の機能としては「領収書の発行」「受講期限の確認&延長申込」「試験申込」「その他お問い合わせ」ができるようになっております。

受講中もストレスフリーだと好評を頂いているサポート体制です。



皆様から寄せられる喜びの声

自閉症の子どもがいるため受講をさせてもらいました。受講後「自分の子どもにも明るい未来があるんだ」と思えたことが一番の成果だったかもしれません。自閉症とわかってからずっと暗い気持ちを引きずっていましたが、この資格を通じて現実を受け入れたうえで、前を見れるようになったと思います。本当に感謝しています。

脳科学者が効果を実証したと謳っているだけあって、具体的な方法論が盛りだくさんでした。実際に我が子に試してみると本当に効果を実感できました。いい資格だと思います。私の担当をしてくださった受付の方もメールのやり取りがとても丁寧で素早かったのでそこも安心できるひとつのポイントかと思います☆

発達障害を持つ子どもの母として、大変勉強になりましたし、子どもを更に愛おしく思いました。また看護師として、発達障害支援事業所に転職することにいたしました。お子さんだけでなく、親御さんの不安に寄り添い、一緒に成長をサポートできるよう、今後も学びを深めていきたいと思えます。本当にありがとうございました。

発達障害のことや子どもとの接し方などとても勉強になりました。子育てにも凄く役立つ内容ばかりだったので勉強してよかったと思っています。人間力認定協会のロゴ入りボールペンもついてきましたし、認定証も立派なケースに収納されていて感動しました！頑張ってた良かったです！

各コースの詳細まとめ

【児童発達支援士】

- ・受講資格：特になし
- ・受講期限：8 カ月（試験を受けることができる期間）
- ・標準学習時間：20 時間～ 30 時間
- ・標準学習期間：2 カ月～ 3 カ月
- ・受講料金：37,400 円（税込）
- ・試験料金：5,060 円（税込） ※試験を受ける場合は別途必要となります
- ・試験方法：オンライン試験
- ・合格基準：50 問中 35 問以上正解で合格
- ・出題形式：二者択一 or 四者択一
- ・支払方法：クレジットカード払い（分割可） or 銀行振込

【発達障害コミュニケーションサポーター】

- ・受講資格：特になし
- ・受講期限：8 カ月（試験を受けることができる期間）
- ・標準学習時間：20 時間～ 30 時間
- ・標準学習期間：2 カ月～ 3 カ月
- ・受講料金：34,100 円（税込）
- ・試験料金：5,060 円（税込） ※試験を受ける場合は別途必要となります
- ・試験方法：オンライン試験
- ・合格基準：50 問中 35 問以上正解で合格
- ・出題形式：二者択一 or 四者択一
- ・支払方法：クレジットカード払い（分割可） or 銀行振込

【2科目セット（児童発達支援士&発達障害コミュニケーションサポーター）】

- ・受講資格：特になし
- ・受講期限：12 カ月（試験を受けることができる期間）
- ・標準学習時間：30 時間～ 50 時間
- ・標準学習期間：4 カ月～ 6 カ月
- ・受講料金：51,500 円（税込）
- ・試験料金：5,060 円（税込） ×2 科目分 ※試験を受ける場合は別途必要となります
- ・試験方法：オンライン試験
- ・合格基準：50 問中 35 問以上正解で合格
- ・出題形式：二者択一 or 四者択一
- ・支払方法：クレジットカード払い（分割可） or 銀行振込

特定商取引法に基づく表記

販売業者	一般社団法人 人間力認定協会 / 株式会社 エルエーシーコーポレーション
販売統括責任者	代表理事 井上智之
所在地	〒420-0839 静岡市葵区鷹匠 3-12-8 セキスイハイム鷹匠レジデンス 901
連絡先	054-270-4444 現在テレワーク実施のため電話受付を休止しております
メールアドレス	official-hpca@ninkyou.jp
公式サイト	https://ninkyou.jp/
商品の販売価格	前項を参照ください
商品以外の必要料金	試験を受けるタイミングで試験料 ※送料は受講料に含まれております
支払方法	クレジットカード決済・銀行振込
支払時期	クレジットカード決済：商品注文時に支払いが確定されます 銀行振込：申込フォーム送信後、7日以内にお振込ください
商品の引渡時期（発送日）	ご注文確認後または入金確認後、7日以内に発送いたします。 ※年末年始・GW・お盆休み・セット内容等により、一部例外があります。 その場合は各ページにて別途表記致します
商品の交換について	商品に欠陥（乱丁・落丁などの製本ミス）が確認された場合は、商品到着後7日以内にご連絡を頂いた場合に限り交換可能です。 この場合に生じる送料は当協会が負担いたします。
転売・中古品販売禁止について	当協会が提供している教材を転売したり、中古品として出品することを固く禁止しております。万が一、転売された商品や中古品を購入された場合、受験資格を付与することは出来ませんのでご注意ください。 転売した商品や中古品を購入した者が不利益を受けた、転売や中古品販売が行われることで何かしらの被害を当協会が受けた損害につきましては、販売元への賠償請求を致します。
キャンセル（返金）について	当資格は「特定継続的役務提供」に該当しないこと、販売方法がWEBとなり訪問や電話等の勧誘をしていないことから、クーリングオフの適用外です。そのためキャンセルポリシーに関しては、当協会が下記に定めた通りとなります。 ①料金支払日（支払日含む）から7日以前であればキャンセル（返金対応）可能です。メールにてキャンセル希望の旨をご連絡ください。 返金手数料として御返金額の10%を引かせていただき、残金を返金します。 発送済みの教材がある場合は、送料をお客様ご負担の上すべて返品いただくものとし、所定の期間を過ぎた場合は、いかなる理由であってもキャンセル（返金）をすることは出来ません。 ②教材開封後（梱包資材開封も含む）やデジタルコンテンツのURL伝達後のキャンセルは料金支払日からの日数に関係なく返金の対応は致しかねます。 著作物の複製や複写・漏えいを防ぐ観点からこのような措置をとっております。 そのため届いた内容物を見たうえで「イメージと違うから」という理由でのキャンセルは出来ません。

尚、お申し込みを頂いた時点で、上記内容にご承諾頂いたものとさせていただきます。何卒、ご理解とご協力を頂きますようお願いいたします

